めぐみイエス・キリスト教会

2025年8月24日(日)第四主日礼拝
午前10時より
週報「通算第772号」

2025年標題聖句
イザヤ書40章30節～31節
《若者も疲れて力尽き、若い男たちも、つまずき倒れる。しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れない。》

第一礼拝(教会にて)	毎週日曜日	午前10時～11時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時～(各家庭にて)

牧師　鈴　木　竜　実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】
【賛　美　Ⅰ】新聖歌315「主の御手に頼る日は」　p. 499
【交　読　文】No.57　コリント人への手紙Ⅰ13章　p. 925
【賛　美　Ⅱ】新聖歌21「輝く日を仰ぐ時」　p. 28
【使徒信条】
【主の祈り】
【前回説教】
【賛　美　Ⅲ】オリジナル曲「み言葉に帰ろう」
【聖書朗読】ルカの福音書10章17節～20節（p. 135上段）
【礼拝説教】《天に記されている名前とは？》
【聖　餐　式】
【賛　美　Ⅳ】新聖歌165「栄光イエスにあれ」　p. 235
【平和祈り】
【頌　　栄】新聖歌63「父・御子・御霊の」　p. 85
【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所

10:17　さて、七十二人が喜んで帰って来て言った。「主よ。あなたの御名を用いると、悪霊どもでさえ私たちに服従します。」
10:18　イエスは彼らに言われた。「サタンが稲妻のように天から落ちるのを、私は見ました。
10:19　確かに私はあなたがたに、蛇やサソリを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けました。ですから、あなたがたに害を加えるものは何一つありません。
10:20　しかし、霊どもがあなたがたに服従することを喜ぶのではなく、あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」

●ポイント1.十二弟子たちに与えられた権威とは？

※マタイの福音書10章1節「十二使徒の任命後に」　(新約p.17下段)

10:1 イエスは十二弟子を呼んで、汚れた霊どもを制する権威をお授けになった。霊どもを追い出し、あらゆる病気、あらゆるわずらいを癒やすためであった。

●ポイント2.「主よ。あなたの御名を用いる」とは？

※マタイの福音書2章23節「ナザレ人と呼ばれる」　(新約p.3下段)

2:23 そして、ナザレという町に行って住んだ。これは預言者たちを通して「彼はナザレ人と呼ばれる」と語られたことが成就するためであった。

●ポイント3.「サタンが稲妻のように天から落ちる」とは？

※黙示録12章7節～9節「ヨハネの見た幻から」　(新約p.505上段)

12:7 さて、天に戦いが起こって、ミカエルとその御使いたちは竜と戦った。竜とその使いたちも戦ったが、

12:8 勝つことができず、天にはもはや彼らのいる場所がなくなった。

12:9 こうして、その大きな竜、すなわち、古い蛇、悪魔とかサタンとか呼ばれる者、全世界を惑わす者が地に投げ落とされた。また、彼の使いたちも彼とともに投げ落とされた。

●ポイント4.「あなたがたの名が天に記されていること」とは？

※黙示録20章15節「白い御座のさばき」　(新約p.516上段)

20:15 いのちの書に記されていない者はみな、火の池に投げ込まれた。

※黙示録21章27節「子羊のいのちの書」　(新約p.518上段)

21:27 しかし、すべての汚れたもの、また忌まわしいことや偽りを行う者は、決して都に入れない。入ることができるのは、子羊のいのちの書に記されている者たちだけである。

◎先週のメッセージ【クリスチャンとしての権威と責任】

《「その日にはソドムのほうが、その町よりも裁きに耐え易いのです。」
ソドムとゴモラは、性的に堕落しきった町で、アブラハムの取りなしにも関わらず、死海のほとりにあり、滅ぼされた町のことです。
引き続き主イエスは、コラジンとベツサイダを名指しされます。コラジンは、カペナウムから約3キロ先にあった町で、ベツサイダ(漁師の家)とは、アンデレとペテロ、そしてピリポの故郷の町のことです。
次に主イエスは、「カペナウム、おまえが天に上げられることがあるだろうか。よみにまで落とされるのだ。」と言われます。これは衝撃的なことです。なぜなら、ガリラヤ宣教の基地として、シモンの家を中心として、多くの人々の病をいやし、悪霊を追い出されたからです。
今現在、コラジン、ベツサイダ、カペナウムともすべて廃墟と化しています。主イエスが数々の奇跡やしるしを行なわれたにも関わらず、彼らは主イエスを、救い主として信じ、受け入れなかったからです。
ここから、病の癒やしと悪霊からの解放と、霊と魂の救いとは、別のものであることが分かります。そして、主イエスは言われます。
「あなたがたに耳を傾ける者は私に耳を傾け、あなたがたを拒む者は私を拒むのです。私を拒む者は、私を遣わされた方を拒むのです。」
この言葉の中に、私たちクリスチャンとしての権威と責任が問われています。主は昇天される直前に、十一使徒に言葉を託されました。「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。信じてバプテスマを受ける者は救われます。しかし信じない者は罪に定められます。信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、私の名によって悪霊を追い出し、新しい言葉で語り、その手で蛇をつかみ、たとえ毒を飲んでも決して害を受けず、病人に手を置けば癒やされます。」と。福音を伝える役割が、私たちに委ねられています。福音とは、今も生きておられる主イエスご自身のことなのです。》

◎お知らせ

※次回、8月31日第五主日礼拝は、通常通り、午前10時からです。